

自己評価結果公表シート（平成29年度）

むさしこども園

1、園の保育教育目標

『すこやかな体 ゆたかな心 を育てる』
乳幼児期の育ちは、生涯にわたる人間としての健全な心身の発達や社会の変化に主体的に対応しうる能力を培い、生涯学習の基礎となる重要な時期であり、個人差・環境差・生育歴に十分こころをくばり、集団生活を通して、養護と教育とが一体となって豊かな人間性をもった子どもの育成を計ります。したがって、次のような子どもを育てたいと願っています。

- ① 健康な心と体の子ども
- ② 決まりの大切さを知り、友達と協力し、思いやりのある子ども
- ③ 自信をもって取り掛かり、それを生活に取り入れ、命の大切さを知る子ども
- ④ 自然体験、社会体験など具体的な生活体験をし、豊かな感情、好奇心、思考力、表現力のある子ども

2、本年度（H30年度）、重点に取り組む目標・計画

『観る！～子ども・保護者・地域を觀よう～』本園の保育・教育課程の内容を確認し、保育者の共通理解を図り、保育の質を高めると共に、保護者・地域ニーズを確認することで、本園としての中・長期のビジョンを明確化し、本園が今後担う役割について検討する。

3、H29年度：評価項目の達成及び取組み状況

自己点検評価項目	取組状況
(1) 保育の計画性 ①園の保育・教育理念、方針の理解 ②保育・教育課程の編成 ③指導計画の作成 ④環境の構成 ⑤保育と計画の評価・反省	15:30からのミーティングで子どもの姿を振り返り、毎週金曜日に「ラーニングストーリー」として保育を振り返るように努めた。またプール施設、子ども用ベンチ、前庭の砂場、人工芝と環境整備に努めた。 「運営部」・「保育環境部」・「行事研修部」・「食育推進部」の部署会議を月1回実施し、職員間の共通理解に努めている。
(2) 保育のあり方、子どもへの対応 ①健康と安全への配慮 ②子どものみとり理解 ③指導とかかわり ④保育者同士の協力・連携	『遊びの重要性』を再確認するよう園長が呼びかけ、3法令（保育所保育指針・幼稚園教育要領・認定こども園教育保育要領）の改訂を学ぶ。 第12回食育コンテストに応募し、食育を深め、当園の取組みを振り返った。
(3) 先生としての資質や能力・良識・適性 ①専門家としての能力・良識・義務 ②組織の一員としての在り方 ③保育の楽しみ・喜び	先生としての意識・良識・マナー・義務等を再確認し、日々の保育への楽しみや喜びを感じ取れるよう自己研鑽に努めている。 今年度は6月に「ノー残業ウィーク」を実施し、働き方を考えた。
(4) 保護者・地域への対応 ①情報の発信と受信 ②協力と支援 ③守秘義務の遵守 ④対応上のマナー・良識	今年度も「保護者へ公開保育」を実施し、「ラーニングストーリー」を保護者に公開し、園での保育を情報発信した。また“銀杏の会”と銘打ち、10月から月1回、近所のお年寄りとの交流機会を作った。 「園だよりの発行」、「むさしっ子 Times」のメール送信を行い、情報発信に努め、「保護者アンケート」も実施し、結果を公表した。
(5) 研修と研究 ①研修・研究への意欲・態度 ②先生としての専門性に関する研修・研究 ③自らを高めるための学習	H29年10月に大分県の公開保育を受け、「遊びを中心とする保育」への研鑽を深めた。 園内部署会議（月1回） ・職員会議（月1回） ・園内研修（年3回） お互いの保育を見直し、よりよい保育環境を指摘し合うように努めている。
(6) 事故リスクの軽減 ①0歳児の事故防止 ②1歳児の事故防止 ③2歳児の事故防止 ④3歳児の事故防止 ⑤4歳児の事故防止 ⑥5歳児の事故防止	防犯カメラを設置する。「生命の尊重」を第一に考え、事故防止に努める。 「ブロック長会議」を中心に、事故・ケガの分析を進め、「事故防止の観点」と「子どもの体づくりの観点」を大切にし、「遊び」を深めることに努めた。

4、自己点検評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

H27年、28年、29年と3年間を通して、「遊びを中心とした保育」を深めてきた。毎日の保育を振り返る時間を作り、遊びの考察をし、大分県の公開保育の指名を受けるなど、「遊びの中で子どもが育つ」確かな手応えを感じることができた。また「食育コンテスト」に応募するなど、職員全体で当園の保育・食育について、精力的に深めることができた。

5、今後（H30）取り組む課題

課題	具体的な取組み方法
乳児保育について研鑽する	3法令の改訂を受け、“遊びを中心とした保育”を展開する中で、乳児（0歳児～2歳児）の育ちにスポットをあて、保育環境を考えたい。
安全管理・点検	保育施設での死亡事故から学ぶ、事故防止研修を開催する。6月H29年度作成した「不審者対応マニュアル」「異物混入マニュアル」を検証する。
働き方の見直し	毎月第3週をノー残業ウィークとし、また毎週火曜日の清掃を業者委託するなど、働き方の見直しをします。
地域子育て支援事業 (地域包括支援の取組み)	「子育て支援(ひまわりキッズ)」+「銀杏の会」+「日曜こども広場」+「放課後児童クラブ」と事業を実施することで、“0歳～12歳までの子どもと子育て家庭”と“地域のお年寄り”の支援をし、地域包括支援の取組みを進めていきます。 H30年4月より、「ぶけい児童クラブ」の運営。10月より「日曜こども広場」を実施。

6、第三者委員会の意見

委員会を年3回実施し、園内でのケガ・苦情の対応と特に指摘する事項はなく、妥当である。

7、財務状況

園舎建設の借入金はあるが、公認会計士監査、大分県の指導監査により、適正に運営されていると認められている。